

	感覚器・皮膚系 疾病治療論	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	感覚器・皮膚系疾患の病態と診断・治療を理解する。放射線の人体への影響を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	①眼疾患	眼科学総論			講義	非常勤講師			
2		白内障の診断、検査、治療			講義				
3		緑内障、網膜剥離、網膜症			講義				
4	②耳鼻咽喉疾患	耳鼻咽喉の構造と機能 主な症状と病態生理			講義	非常勤講師			
5		検査と治療			講義				
6		事例による看護過程の展開 摂食・嚥下障害患者の看護			講義 演習				
7	③歯・口腔疾患	炎症疾患（咽頭炎、扁桃炎）			講義	非常勤講師			
8		う歯、歯周病、腫瘍（舌癌、咽頭癌）			講義				
9	④皮膚疾患	総論（皮膚の構造と機能、検査、治療） 湿疹、アトピー性皮膚炎			講義	非常勤講師			
10		細菌感染症とウイルス感染症			講義				
11		皮膚腫瘍（良性、悪性）			講義				
12	⑤放射線療法	放射線とは 放射線医学の発達			講義	非常勤講師			
13		放射線診断について			講義				
14		放射線治療総論			講義				
15		放射線治療各論 放射線防護			講義				
16	定期試験（90分）					非常勤講師			

授業科目	がん治療論	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	15	開講	前期
科目目標	化学療法と癌性疼痛の特徴と治療方法を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	がん医療	がんを取り巻く状況 肺がん患者の臨床経過 化学療法			講義	非常勤講師			
2	がんの病態と臨床経過	がんの発生 増殖と分化の異常 肺がん患者の臨床経過			講義				
3	がん患者の抱える苦痛	身体的苦痛 心理的苦痛			講義				
4	緩和ケア	緩和ケアとは がんの治療と緩和ケアの併行診療 がん疼痛と治療の基本			講義				
5	がん患者の治療	（事例1） 化学療法 がん疼痛の治療 トータルペイン（全人的痛み）のかかわり			講義				
6		（事例2） ターミナル（前・中・後）期のかかわり			講義				
7	総まとめ	1～6回の内容の確認と説明			講義				
8	定期試験（60分）								

授業科目	社会福祉概論	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	15	開講	前期
科目目標	社会福祉の概念と、社会福祉制度を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	社会福祉の概念と発達 (1)	社会福祉とは 社会福祉の動向			講義	非常勤講師			
2	社会福祉の概念と発達 (2)	社会福祉の法制度の歴史的展開 社会福祉サービス			講義				
3	社会福祉と福祉6法	公的扶助 生活保護法と施策 近年の動向			講義				
4									
5		高齢者福祉と施策			講義				
6		障害者（身体、精神、知的、精神薄弱） 福祉と施策			講義				
7		児童福祉と施策 母子・父子・寡婦福祉と施策			講義				
8	定期試験（60分）								

授業科目	社会保障制度論	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	15	開講	前期
科目目標	社会保障の理念と基本的な制度の考え方を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	社会保障とは	社会保障の概念、目的、機能 社会保障の歴史・体系			講義	非常勤講師			
2	医療保障①	医療保険制度の概要と特徴			講義				
3	医療保障②	健康保険と国民健康保険			講義				
4	医療保障③	高齢者医療制度 保険診療のしくみ 国民医療費の動向			講義				
5	介護保障①	介護保障の歴史 介護保険制度の概要			講義				
6	介護保障②	介護保険の財政 利用者の権利擁護 課題と展望			講義				
7	所得保障	各所得保障制度の特徴 年金保険制度 社会手当 労働保険制度			講義				
8	定期試験（60分）								

授業科目	看護理論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	15	開講	前期
科目目標	看護実践のための理論的根拠としての看護理論を学ぶ。								
回	主題	授業内容			授業方法		担当教員（講師）		
1	看護理論の発展	看護の本質と看護理論の関係			講義		本校教員		
2		看護理論の種類			講義				
3	看護理論の発展に貢献した理論家	V. ヘンダーソン E. ペプロウ D. E. オレム C. ロイ			講義 個人・グループワーク				
4									
5	臨床に役立つ看護理論	1. ニード論（ヘンダーソン） 2. 人間関係論（ペプロウ） 3. セルフケア理論（オレム） 4. システム理論（ロイ）			講義 演習				
6									
7	臨床に役立つ看護理論	事例で学ぶ看護理論			講義 グループワーク				
8	定期試験(60分)								

授業科目	看護過程	分野	専門分野	単位数	1単位	時間数	30時間	開講	前期
科目目標	看護診断プロセスを用いた看護過程を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	看護過程とは	1) 看護過程の概念 ①看護過程とは何か ②看護過程の目的、5つの構成要素			講義	本校教員			
2	問題解決型思考とは	1) 看護過程の基盤となる考え方 ①看護過程と問題解決方法との関係 ②クリティカルシンキングとは			講義				
3	看護診断とは	1) 看護診断とは ①看護診断過程			講義				
4	看護診断過程を用いた看護過程の実際	1) アセスメント ①アセスメント過程の概要と意義 ②データベースアセスメント ③多様な情報収集源とその活用 ④情報の分析・解釈・推理／推論 ⑤アセスメントの実際 2) 問題の明確化（診断） ①看護問題の概念、種類 ②全体像の把握と関連図の作成 ③関連図・問題リスト作成の実際 3) 看護計画 ①優先順位の決定 ②看護目標を設定する意義と方法 ③看護計画立案の実際 4) 実施 5) 評価 ①評価の視点と意義、方法 6) 看護記録の機能、記載方法			講義・演習				
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15	定期試験(90分)								

授業科目	臨床看護技術 I	分野	専門分野	単位数	1単位	時間数	30時間	開講	前期
科目目標	臨床で遭遇する主要な症状に対する基本的な看護を習得する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	臨床看護	1) 臨床看護の目的・対象 2) 臨床看護の対象			講義	本校教員			
2	発熱患者のアセスメント	1) 体温について 2) 発熱・解熱の定義 3) 発熱・解熱のメカニズム 4) 発熱の成り行き 5) 発熱・解熱のアセスメント			講義				
3	発熱時の看護	1) 発熱患者の観察ポイント 2) 発熱患者の援助・評価について			講義				
4	褥瘡	温褥法・冷褥法の実際			校内実習				
5	褥瘡	温褥法・冷褥法の実際			校内実習				
6	悪心・嘔吐患者のアセスメント	1) 悪心・嘔吐の定義 2) 悪心・嘔吐のメカニズム 3) 悪心・嘔吐の成り行き 4) 悪心・嘔吐アセスメント			講義				
7	悪心・嘔吐時の看護	1) 悪心・嘔吐患者の観察ポイント 2) 悪心・嘔吐時の援助・評価について 3) 嘔吐時の体位、胃部冷褥法			講義 演習				
8	吐血・下血患者のアセスメント・看護	1) 吐血・下血の定義 2) 吐血・下血のメカニズム 3) 吐血・下血のアセスメント 4) 吐血・下血の観察ポイント 5) 吐血・下血の援助・評価について			講義 演習				
9	喀血患者のアセスメント・看護	1) 喀血の定義 2) 喀血のメカニズム 3) 喀血のアセスメント 4) 喀血の観察ポイント 5) 喀血の援助・評価について			講義 演習				
10	かゆみのある患者のアセスメント・看護	1) かゆみの定義 2) かゆみのメカニズム 3) かゆみのアセスメント 4) かゆみの観察ポイント 5) かゆみの援助・評価について			講義 演習				
11	疼痛のある患者のアセスメント	1) 疼痛の定義と種類(頭痛/胸痛/腹痛) 2) 疼痛のメカニズム 3) 疼痛の成り行き 4) 疼痛スケール			講義 演習				
12	頭痛時の看護	1) 頭痛のメカニズム 2) 頭痛患者の観察ポイント 3) 頭痛患者の援助・評価について			講義 演習				
13	胸痛時の看護	1) 胸痛のメカニズム 2) 胸痛患者の観察ポイント 3) 胸痛患者の援助・評価について			講義 演習				
14	腹痛時の看護	1) 腹痛のメカニズム 2) 腹痛患者の観察ポイント 3) 腹痛患者の援助・評価について			講義 演習				
15	定期試験(90分)								

授業科目	フィジカルアセスメント技術Ⅱ	分野		専門分野		単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	臨床判断に必要な身体的の状態を観察できる知識と技術の習得、アセスメントの思考過程を培う。										
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）				
1	生命を維持するフィジカルイグザミネーション①	「生きている」のフィジカルアセスメント① 呼吸器系 1) 胸郭・肺の観察 ・手技と要点、観察項目 2) 事例による展開				講義・演習	本校教員				
2											
3	生命を維持するフィジカルイグザミネーション②	「生きている」のフィジカルアセスメント② 循環器系 1) 頸部・胸部・抹消の観察 ・手技と要点、観察項目 2) 事例による展開				講義・演習					
4											
5	五感を司るフィジカルイグザミネーション	「見る・聴く・嗅ぐ・味わう・触れる・話す」 1) 感覚器系の観察 手技と要点、観察項目 2) 事例による展開				講義・演習					
6											
7											
8	動きのフィジカルイグザミネーション	「身体を動かす」 1) 筋・骨格系の観察 手技と要点、観察項目 2) 事例による思考過程				講義・演習					
9											
10											
11	身体を守るフィジカルイグザミネーション	「身体を守る」 1) 皮膚と恒常性の観察 手技と要点、観察項目 2) 事例による展開				講義・演習	本校教員				
12											
13	食べる、排泄するフィジカルイグザミネーション	「食べる・栄養をとりこむ」 1) 咀嚼、嚥下の観察 手技と要点、観察項目 2) 消化・吸収の観察 手技と要点、観察項目 3) 事例による展開				講義・演習					
14								「排泄する」 1) 下腹部の観察 手技と要点、観察項目 2) 直腸、肛門、泌尿器の観察 手技と要点、観察項目 3) 事例による展開			
15	定期試験(90分)							本校教員			

授業科目	地域健康支援論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	後期
科目目標	公衆衛生看護活動の中でも特徴的な集団や地域社会を対象とした公衆衛生看護活動を行うための基礎的能力を身につける。 公衆衛生の理念に基づき、住民の家庭・地域社会生活の場において提供する公衆衛生看護、地域看護援助方法を理解し、援助提供の場に応じた看護職の役割・機能を理解する。								
回	主題	授業内容	授業方法	担当教員（講師）					
1	地域を単位とする看護 地域のデータを読み取る 地域看護アセスメントと 保健 事業計画の立案 保健指導の基本 保健指導の展開	地域看護アセスメント 地域看護診断（健康課題の特定） 公衆衛生看護における対象の理解 保健指導の主な技術 公衆衛生看護における対象の理解 健康相談、健康診査の展開 家庭訪問による援助の目的・特徴とその機能および展開過程と実際 地域組織活動の概念と組織づくりの方法	講義	非常勤講師					
2			講義						
3			講義						
4			講義						
5			講義						
6			講義						
7	地域保健福祉計画	地域保健福祉計画の評価	講義	非常勤講師					
8	健康教育の展開 地域組織活動の実際	地域保健福祉計画とは 保健事業の政策と予算 健康教育の目的と技術 健康教育の展開過程と実際 地域組織活動の概念と組織づくりの方法 セルフヘルプ・グループや住民組織活動とその支援	講義 演習	本校教員					
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15	定期試験（90分）			非常勤講師 本校教員					

授業科目	在宅ケアマネジメント論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	15	開講	後期
科目目標	1. ケアマネジメントのプロセスを学ぶ。 2. チームアプローチの意義と方法を学ぶ。 3. ケアシステムづくりに訪問看護が果たす役割を学ぶ。								
回	主題	授業内容	授業方法	担当教員（講師）					
1	ケアマネジメント	介護保険制度 看護師の役割 多職種連携・協働	講義	非常勤講師					
2	ケアマネジメントの過程	ケアマネジメントに求められる力 在宅ケアマネジメントの過程 アセスメントの視点	講義						
3	ケアプランの実際	居宅サービス計画とは 社会資源について	講義 個人ワーク						
4		居宅サービス計画の立案 発表	グループワーク						
5	退院支援、退院調整	退院支援・退院調整の過程 受容支援、自立支援 多職種との協働	講義						
6		退院前カンファレンス 退院前カンファレンスの準備	講義 グループワーク						
7		退院前カンファレンスの実際	講義 発表						
8	定期試験(60分)								

授業科目	在宅生活援助論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	後期
科目目標	1. 在宅看護における援助関係の基本を理解する。 2. 訪問看護に必要な基礎的な看護技術を学ぶ。								
回	主題	授業内容	授業方法	担当教員（講師）					
1	コミュニケーション	療養者や家族を支援する、基本姿勢 障害のある方のコミュニケーションの特徴 と支援	講義	本校教員					
2	食生活を支える	在宅生活で食べる行為を支援する 嚥下障害時の介助のポイント	講義						
3		口腔ケア、嚥下訓練 多職種連携	講義						
4	排泄を支える	排泄の意義 在宅である排泄の問題 在宅生活で排泄行為を支援する	講義						
5		尿失禁の種類、病態、要因 尿、便失禁の予防と工夫	講義						
6	移動・移乗を支える	移動の援助の目的と療養者の特徴 在宅環境を整備する視点	講義						
7	身体運動機能低下を 予防する	生活の中での移動動作、機能訓練 移動補助用具の種類と選定 転倒の危険因子と予防対策	講義						
8	清潔を支える	清潔習慣を尊重した援助方法 在宅での清潔援助の意味 家にある物で道具を作る（クリアパッド）	講義 動画視聴 体験学習						
9		在宅で清潔援助を行う際の注意点 清潔に関する社会資源	講義						
10	薬物療法を支援する	在宅で多い内服事情 内服管理の実際と問題	講義						
11	感染を予防する	在宅で多い感染症 感染症療養者の訪問看護と感染対策	講義						
12	訪問時のマナー	訪問時のマナーと実際 服装や身だしなみ、態度と行動	講義						
13	相談・指導技術	初回訪問の準備、留意点と実際 面談の実演	講義						
14	在宅看護過程	在宅看護過程の展開 事例から在宅看護上の問題と計画を考える	講義						
15	定期試験(90分)								

授業科目	在宅看護方法論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	後期
科目目標	医療依存度の高い療養者と家族への援助と在宅での看取りの看護を学ぶ。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	医療依存度の高い在宅高齢者への看護	地域包括ケアシステムについて 介護、医療ニーズの高い方への在宅看護			講義	非常勤講師			
2	在宅経管栄養法	在宅経管栄養法の目的、種類と適応条件 『在宅経管栄養法の看護』			講義				
3	在宅中心静脈栄養法 (HPN)	在宅中心静脈栄養の目的と適応条件 特徴と種類 『在宅中心静脈栄養法の看護』			講義				
4	在宅尿道留置 カテーテル	在宅尿道留置カテーテルの目的と適応条件、 在宅尿道留置カテーテル挿入中の看護			講義				
5		合併症とその対応方法 社会資源の活用 在宅尿道留置カテーテルの看護の実際			講義				
6	疼痛管理	痛みの理解とマネジメント 在宅での麻薬の取り扱い方法 疼痛管理の実際			講義				
7	終末期看護	終末期の身体変化 終末期看護と自宅での看取りの準備			講義				
8	在宅酸素療法	在宅酸素療法の意義としくみ			講義 DVD視聴	非常勤講師			
9	非侵襲的陽圧換気法 在宅人工呼吸療法	在宅人工呼吸器 小児の在宅人工呼吸器			講義 DVD視聴				
10	排痰に関する看護	排痰に関する看護技術			講義				
11	褥瘡の予防と管理	高齢者における褥瘡の予防と管理			講義	非常勤講師			
12									
13	褥瘡予防と管理	看護技術			体験学習				
14									
15	定期試験(90分)					非常勤講師			

授業科目	成人セルフケア援助論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	後期
科目目標	生涯にわたり健康障害のセルフコントロールが必要な成人の看護を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	成人のセルフケア	1) 成人とセルフケアとは 2) セルフケアの定義			講義	本校教員			
2	患者心理とセルフケア行動	1) 慢性期とは 2) 成人慢性病患者の看護・心理 3) 病みの軌跡、エンパワメント			講義				
3	自己効力感	1) 自己効力理論（バンデューラ） 2) 行動変化ステージ			講義				
4	成人教育学	1) 成人の学び方（アンドラゴジー） 2) 教育的役割（ベナー理論）と コーチングスキル			講義				
5	患者指導技術と教育用教材	1) 患者教育・指導の方法とプロセス 2) 教育用教材			講義				
6	糖尿病看護とセルフケア	1) 糖尿病看護 2) 糖尿病患者のセルフ支援			講義・演習				
7	糖尿病看護とセルフケア	1) 糖尿病看護 2) 糖尿病患者のセルフ支援			講義・演習				
8	血糖測定	1) 血糖測定の意義、目的、対象 2) 必要物品と注意事項			講義				
9	血糖測定の実際	血糖測定の実際			演習				
10	血糖測定の実際	血糖測定の実際			演習				
11	慢性疾患患者の実際	1) セルフケア指導の実際			講義・演習				
12	慢性疾患患者の実際	1) セルフケア指導の実際			講義・演習				
13	患者指導・患者教育の実際	1) 透析療法と看護 2) シヤント管理			講義・講演				
14	患者指導・患者教育の実際	1) フットケアと看護			講義・講演	非常勤講師			
15	定期試験（90分）					本校教員 非常勤講師			

授業科目	周手術期 看護方法論	分野		専門分野		単位数	1	時間数	30	開講		通年	
科目目標	1. 健康状態が急激に変化し生命の危機的状況にある人の各発達段階に合わせた身体的・心理的・社会的変化とその回復過程の特徴が理解できる。 2. 周手術期における看護師の役割を理解し、対象とその家族の生活にもたらされる影響を含め、必要な看護ケアが理解できる。												
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）						
1	周手術期とは	1) 手術とは 2) 周手術期とは				講義	本校教員						
2	周手術期における成人と高齢者の看護	1) 周手術期の心理過程の特徴 (告知に伴うフィソクの危機モデル)											
3		2) インフォームドコンセントと意思決定支援の実際について 3) 術前検査											
4	手術前看護① チーム医療における看護の役割	1) チーム医療における看護の役割 2) 手術オリエンテーション 3) 主体的取り組みへのサポート											
5		4) 手術に対する不安・恐怖への援助 5) 術後疼痛の体験 6) ボディイメージの変容											
6	手術侵襲と生体反応 観察とアセスメント	1) 手術侵襲による生体反応 2) 呼吸器系・循環器系・消化器系への影響 (身体メカニズムと変化) 3) Mooreの回復過程											
7	手術前看護② 手術前の身体準備	1) 手術に向けた身体準備 2) 手術室への入室準備											
8	手術中看護① 手術室看護師の役割	1) 手術室とは 2) 手術室看護師の役割 2) 手術中の安全・安楽への援助				講義	本校教員						
9	手術中看護② 麻酔の特徴とて手術を受ける患者の看護	1) 手術中合併症の予防と看護の実際 2) ガウンテクニック				講義 校内実習							
10													
11	手術後看護① 術後の病床管理 術直後の観察	1) 術後の病床管理(術後ベッド準備) 2) 術直後の観察 2) 創傷治癒過程				講義	本校教員						
12	手術後看護② 術後合併症の発生のメカニズムと症状・看護	1) 術後合併症の予防 2) ドレーン管理(胸部、腹部など)				講義							
13	手術後看護③ 回復期から退院までの看護師の役割	1) 術後の生活援助 2) 術後障害への対応 3) 手術による変化・喪失の受容支援 4) 新たな健康管理能力の獲得				講義							
14	周手術期における子どもと家族への看護	1) 子どもの手術の特徴、治療、予後 2) 子どもと家族への援助				講義	本校教員						
15	定期試験 (90分)						本校教員						

授業科目	リハビリテーション看護 方法論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	リハビリテーション過程にある対象の看護を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法		担当教員（講師）		
1	リハビリテーション 看護とは	リハビリテーションの定義と概念 ADL評価ツール			講義		非常勤講師		
2	ADL自立への援助	ADL動作の分析			講義 グループワーク				
3									
4	リハビリテーション の特徴	運動器系、脳神経系疾患患者の リハビリテーション			講義				
5		急性期合併症予防の支援 廃用症候群について			講義				
6	合併症の予防	深部静脈血栓症予防 (弾性ストッキングの着用・包帯法)			講義 演習				
7	活用できる社会資源	介護保険で利用できるサービス			講義				
8	関節拘縮の予防と評価	関節可動域（ROM）測定・評価 徒手筋力測定・評価			講義 校内実習		非常勤講師		
9									
10	運動療法の実践	ポジショニング 関節可動域運動 松葉杖・杖の処方と歩行方法			講義 校内実習		非常勤講師		
11									
12	リハビリテーションチー ムメンバーの役割	多職種で働くということ			講義 グループワーク		非常勤講師		
13									
14	心臓リハビリテーション	チーム医療で心臓病を支える			講義		非常勤講師		
15	定期試験（90分）						非常勤講師		

授業科目	救急看護 方法論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	前期			
科目目標	生命の危機状態にある対象の看護を理解する。											
回	主題	授業内容			授業方法		担当教員（講師）					
1	救急医療概念	救急看護とは			講義		本校教員					
2		救急医療体制と救急看護の場			講義							
3		救急看護と法的・倫理的側面			講義							
4	救急看護の対象の理解	救急患者の特徴 救急患者家族の特徴			講義							
5	救急患者の観察と アセスメント	全身と外観の観察と緊急検査			講義							
6		意識障害への対応			講義							
7		呼吸障害への対応			講義							
8		ショック・循環障害への対応			講義							
9	救急処置と看護	心肺停止状態への対応 一次救命処置 二次救命処置			講義 校内実習							
10												
11	こどもの救命処置	心肺蘇生（一次救命処置）吸引			講義 校内実習							
12	外傷への対応	外傷の種類 外傷時の看護			講義					非常勤講師		
13	ME機器の原理と実際	輸液ポンプ・シリンジポンプ 人工呼吸器			講義 校内実習					非常勤講師		
14												
15	定期試験（90分）									本校教員 非常勤講師		

授業科目	がん看護方法論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	後期
科目目標	がん患者の告知後のサポート、治療上のケア、緩和ケア、痛みのコントロール、家族ケアを理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法		担当教員（講師）		
1	がんとは	がんの動向 がん患者として生きていくこと			講義		非常勤講師		
2	がん告知に対する心理的反応	がん告知後のサポート			講義				
3	化学療法と看護	化学療法に伴う看護			講義 グループワーク				
4	放射線療法と看護	放射線療法に伴う看護			講義				
5	緩和ケアとは	緩和ケアとチーム医療			講義		非常勤講師		
6	がん患者の心理疼痛緩和法	心理・社会的ケア 心理的ケア（リラクゼーション）			講義		非常勤講師		
7	緩和ケアと症状疼痛緩和法	緩和ケアにおける全人的苦痛の捉え方 緩和ケア（マッサージ）			講義 校内実習		非常勤講師		
8	緩和ケアと症状疼痛緩和法	緩和ケアにおける全人的苦痛の捉え方 がん性疼痛のマネジメント 死の受容過程			講義				
9	人間にとっての死	スピリチュアルケアについて			講義		非常勤講師		
10	患者の悲嘆へのケア	家族ケアについて			講義				
11	危篤とは 臨終・死亡時の看護	危篤・終末時の看護 死亡時の看護 死亡時の処置 エンゼルケアチームの役割			講義 校内実習				
12	がん患者の看護①	排泄経路変更の看護 ストーマ造設患者について			講義		非常勤講師		
13									
14	がん患者の看護②	排泄経路変更に伴う合併症の看護 ストーマ造設後の合併症			講義 校内実習				
15									
16	定期試験（90分）						非常勤講師		

授業科目	薬物看護方法論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	後期	
科目目標	1. 看護実践に生かす臨床薬理について理解し、薬物治療を受ける対象の各発達段階において 科学的根拠のある看護を提供するための知識について理解する。 2. 医薬品を適切かつ安全に使うための技術を修得する。									
回	主題	授業内容	授業方法	担当教員（講師）						
1	看護業務に必要な薬の基礎知識	1) 看護業務に必要な薬の基礎知識	講義	本校教員						
2	与薬の基礎知識	1) 薬物とは 2) 薬物の取り扱い 3) 薬物の体内動態と薬効 4) 与薬の指示と情報、薬物の保管	講義							
3										
4	看護実践に生かす臨床薬理とは	1) 薬剤投与場面における医療従事者の役割 2) 特に注意する薬剤や投与方法 3) 看護実践に生かす臨床薬理 4) 指示書、処方箋、添付文書の読み方 5) 使用時の留意点 ①依存 ②耐性 ③催奇形性 ④授乳時の移行	講義							
5										
6										
7	注射と安全	1) 注射と法律 2) 注射の利点と欠点 3) 安全・安心な注射のために								
8	薬物療法を受ける対象の看護① 子どもへの与薬と看護	1) 薬物の吸収、体内分布、代謝 2) 小児の薬用量	講義・演習	本校教員						
9										
10		1) 静脈内注射、輸液、経口与薬 吸入、座薬、浣腸の援助の実際								
11										
12	薬物療法を受ける対象の看護② 成人への与薬と看護	1) 成人への薬理作用 2) 成人の薬物療法に対する看護師の役割 ①周手術期における薬物療法 ②周手術期における症状緩和に向けた薬物療法に対する看護師の役割	講義・演習	本校教員						
13										
14	薬物療法を受ける対象の看護③ 高齢者への与薬と看護	1) 高齢者の心身の特徴と薬理作用 2) 高齢者の薬物療法に対する看護師の役割	講義・演習	本校教員						
15										

授業科目	看護過程演習	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	後期
科目目標	小児期・成人期・老年期の特徴的な疾患を持った対象の看護を考える。								
回	主題	授業内容			授業方法		担当教員（講師）		
1	治療を必要とする患児の看護を考える	小児に特有な疾患の看護を考える 疾患の理解と必要な看護			講義 ワークシート		本校教員		
2		対象に合わせてた看護を考える			PBL 課題				
3		対象に合わせてたより良い看護を考える			講義 グループワーク				
4	看護の実際	対象に合わせた看護の実際			演習				
5	治療を必要とする成人の看護を考える	手術を受ける成人の看護を考える 疾患の理解と必要な看護			講義 ワークシート		本校教員		
6		手術を受ける対象の看護を考える			講義 グループワーク				
7		対象に合わせた看護の実際			PBL 課題				
8		対象に合わせた看護の実際			講義 グループワーク				
9	看護の実際	対象に合わせた看護の実際			演習				
10	治療が必要な高齢者の看護を考える	高齢者に起こしやすい疾患の看護 加齢に変化と疾患について			講義 ワークシート		本校教員		
11		高齢者に起こしやすい疾患の看護 疾患の理解と必要な看護			講義 ワークシート				
12		対象に合わせた看護を考える			PBL 課題				
13		対象に合わせた看護の実際			講義 グループワーク				
14		対象に合わせた看護の実際			演習				
15	看護の実際	対象に合わせた看護の実際			演習				

授業科目	老年生活援助論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	高齢者の生活機能を整える看護を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法		担当教員（講師）		
1	高齢者のアセスメント	高齢者のアセスメントの基本 高齢者総合機能評価（CGA）			講義		本校教員		
2	高齢者の生活を支える看護	高齢者疑似体験モデルを使った体験			講義 体験学習 グループワーク				
3									
4									
5		コミュニケーションの援助 基本動作の援助 転倒・転落予防の援助			講義 グループワーク				
6		排泄の援助（排便コントロール、摘便） 清潔・整容の援助							
7		休息・睡眠の援助 環境整備							
8		食事の援助 セクシュアリティに対する援助							
9		社会参加を促す援助							
10									
11	高齢者のヘルスプロモーション	老年期のヘルスプロモーション 介護予防とヘルスプロモーション			講義 体験学習				
12									
13	様々な生活の場での 高齢者の看護	高齢者虐待の対策と防止			講義		非常勤講師		
14									
15	定期試験（90分）						本校教員 非常勤講師		

授業科目	老年看護方法論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	通年
科目目標	さまざまな健康状態にある高齢者の看護を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	高齢者の生理的特徴	老化とは 老化と寿命 各機能の老化			講義	本校教員			
2	高齢者が起こしやすい症状のアセスメントと看護	老年症候群 熱中症 脱水症 睡眠障害 視覚障害 聴覚障害 皮膚の障害 フレイル			講義				
3									
4	高齢者に特有な疾患に対するアセスメントと看護	パーキンソン病 骨折 肺炎			講義 演習				
5									
6	検査を受ける高齢者の看護	高齢者が受けることが多い検査とその看護			講義				
7	認知症高齢者の看護	加齢による病態と要因 認知機能の評価 予防治療、療法的アプローチ			講義 グループワーク	本校教員			
8		認知症高齢者の対応							
9	摂食・嚥下障害のある高齢者の看護	高齢者の摂食・嚥下機能の特徴 脳神経疾患患者の摂食・嚥下訓練			講義	非常勤講師			
10		嚥下障害のある高齢者の食事介助			校内実習				
11		口腔ケアの基本と援助方法			校内実習				
12	排泄障害のある高齢者の看護	尿失禁の病態と要因 アセスメント			講義	非常勤講師			
13		排泄能力の変化に応じた援助① 失禁の予防と対策 皮膚障害の予防と対処			講義 演習				
14		排泄能力の変化に応じた援助② おむつの選び方・当て方			講義 演習				
15	定期試験（90分）					本校教員 非常勤講師			

授業科目	小児系疾病 治療論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	小児疾患の病態・症状・治療・検査を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	新生児の疾患	分娩損傷、適応障害、低出生時の疾患、染色体異常、先天異常			講義	非常勤講師			
2	代謝性疾患と内分泌疾患	代謝性疾患 下垂体、甲状腺および副甲状腺、副腎疾患			講義				
3	免疫疾患・アレルギー性疾患・リウマチ性疾患	アレルギー性疾患、原発性免疫不全症、リウマチ性疾患			講義				
4	感染症	ウイルス感染症、細菌感染症、真菌感染症			講義				
5	呼吸器疾患	喘息、上気道の疾患、気管支・肺・胸膜疾患			講義				
6	循環器疾患	先天性心疾患、川崎病			講義				
7	消化器疾患	口腔疾患、食道・胃・十二指腸・大腸の疾患、腹膜の疾患、肝臓・胆道の疾患、急性乳用児下痢症、急性胃腸炎			講義				
8	血液・造血器疾患	貧血、出血性疾患、好中球の量的質的異常			講義				
9	悪性新生物	造血器腫瘍、脳腫瘍			講義				
10	腎・泌尿器および生殖器疾患	糸球体疾患、急性・慢性腎疾患 生殖器・外生殖器疾患			講義				
11	神経疾患	けいれん性疾患、急性神経疾患、筋疾患			講義				
12	運動器疾患、皮膚疾患、眼疾患	先天性股関節脱臼、骨折 湿疹・皮膚炎群 屈曲異常、斜視			講義				
13	耳鼻咽喉疾患と精神疾患	耳・鼻・咽頭・喉頭の疾患			講義				
14	事故と外傷	不慮の事故総論 誤飲・誤嚥、熱傷、熱中症			講義				
15	定期試験(90分)								

授業科目	小児看護方法論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	子どもとその家族に必要な看護の方法を学び技術を習得する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	病気や診療・入院が子どもと家族に与える影響と看護の方向性①	授業概要 1) 病気と診療・入院が子どもと家族に与える影響について考える			講義	本校教員			
2	子どもの最善の利益を考えた関わり・支援	1) 心理的混乱に対する心の準備 ・プレパレーション・ディストラクションの流れと実際			講義	非常勤講師			
3	病気や診療・入院が子どもと家族に与える影響と看護の方向性②	1) 慢性的な疾患の・障害がある子どもと家族への看護 ・受容への支援 ・他職種・地域連携、生活援助			講義・演習	非常勤講師			
4	感染症と隔離／活動制限が必要な子どもと家族への看護	1) 小児期特有な感染症の特徴、観察の視点、隔離・活動制限された子どもへの援助			講義	非常勤講師			
5	外来における子どもと家族へ看護	1) 小児科外来の特徴 2) 小児科外来の看護に求められること 3) 子どもの虐待について 4) 診察の介助			講義	本校教員			
6	子どものアセスメント	1) アセスメントに必要な基礎知識 ・バイタルサイン測定 ・身体計測			講義・演習	非常勤講師			
7	急性症状のある子どもと家族への看護	1) 急性的な経過をたどる子どもの症状と看護 ・痛み ・発熱・けいれん ・下痢と嘔吐 ・脱水 ・呼吸困難 2) 日常生活援助技術 ・食事の援助 ・清潔の援助 ・移動の技術			講義	非常勤講師			
8									
9									
10									
11	障害のある子どもと家族の看護	1) 医療的ケア・発達の支援が必要な子どもと家族の看護 ・子どものセルフケア行動の促進 ・他職種連携（学校・保育所での支援）			講義 ゲストスピーチ	本校教員			
12	出生直後から集中治療が必要な子どもと家族への看護	1) ハイリスク新生児の特徴 ・集中ケアにおける援助 ・親子・家族関係確立への支援			講義	非常勤講師			
13	エンド・オブ・ライフにある子どもと家族の看護	1) 代表的な疾患とその特徴、病態、治療法、治療により生じる影響、予後、子どもと家族への援助			講義	非常勤講師			
14	特別な状況にある子どもと家族への看護	1) 子どもと災害 ・子どもと家族への影響 ・支援を必要とする子どもと家族への看護			講義	本校教員			
15	定期試験（90分）					本校教員 非常勤講師			

授業科目	周産期生理・異常論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	妊娠・分娩・産褥・新生児の生理的変化と、異常な経過について理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	妊娠期における看護	妊娠の生理 胎児の発育とその生理			講義	非常勤講師			
2	妊婦と胎児の経過の診断とアセスメント	妊娠と診断 妊娠期に行う検査 胎児の発育と健康状態の診断			講義				
3	分娩期における看護	分娩の経過 産婦と胎児の健康状態			講義				
4	新生児期および産褥期における看護	新生児の評価 新生児の健康状態			講義				
5	妊娠・分娩・新生児・産褥の異常	ハイリスク妊婦、妊娠疾患、 妊娠持続期間の異常、子宮外妊娠			講義				
6		産道の異常 娩出力の異常 胎児の異常による分娩障害 胎児の付属物の異常 分娩時の異常 産科処置と産科手術			講義				
7									
8									
9									
10	新生児の異常	新生児仮死 分娩外傷 低出生体重児 高ビリルビン血症			講義				
11									
12	産褥の異常と看護	子宮復古不全、産褥期の発熱、 産褥血栓症、精神障害			講義				
13		感染症の褥婦 乳房トラブル 児を亡くした褥婦と家族			講義				
14	精神障害合併妊婦と家族	不安症/不安障害、強迫症/強迫性障害、 統合失調症、抑うつ障害、摂食障害、 産後うつ病、産褥精神病			講義				
15	定期試験(90分)								

授業科目	母性看護方法論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	正常経過にある妊婦・産婦・褥婦・新生児の看護と保健指導の基本的知識を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	妊婦の看護と保健指導	妊娠による母体の変化 妊婦の健康管理 妊婦と家族への看護 妊婦への保健指導 など			講義	非常勤講師			
2									
3									
4									
5									
6	異常な経過にある妊婦の看護	切迫流産・切迫早産の妊婦への看護 妊娠高血圧症候群などの妊婦への看護 など			講義				
7	産婦・褥婦の看護と保健指導	分娩時の母体の変化 分娩各期における産婦の看護・保健指導 分娩後の観察と看護 など			講義 VTR視聴				
8									
9									
10									
11	異常な経過にある産婦の看護	異常出血・異常分娩時の産婦への看護 胎児機能不全の状態にある産婦の看護 胎児心拍陣痛図（NST・CTG）判読など			講義				
12									
13	異常な経過にある褥婦の看護	子宮復古不全の状態にある褥婦の看護 母乳分泌異常の状態にある褥婦の看護 など			講義				
14	周産期医療のシステムと母子保健施策	周産期医療のシステム 母子保健に関連する法律 子育て支援・DV防止などの施策 など			講義				
15	定期試験(90分)								

授業科目	周産期看護技術	分野	専門分野	単位数	1	時間数	15	開講	後期
科目目標	周産期の母子に対する看護の基本的知識・技術を習得する。								
回	主題	授業内容	授業方法	担当教員（講師）					
1	母性の看護技術	妊婦への看護技術 (レオポルド触診法、浮腫の観察、診察介助法、間欠的胎児心拍数聴取、胎児心拍数陣痛図 (NST・CTG) など)	講義 DVD視聴	非常勤講師					
2		褥婦への看護 (子宮底高の測定・観察、外陰部・悪露の観察、胎盤計測、乳房・乳頭の観察、帝王切開後の観察、産後うつ・家族計画など)							
3		新生児への看護 (新生児とは 出生直後の観察・計測・看護)							
4	新生児の健康と発育のアセスメント・看護技術	新生児の観察と看護 (沐浴・おむつ交換など) 生理的体重減少 生理的黄疸 原始反射・成熟徴候 新生児の検査 (スクリーニング検査) など 沐浴 校内実習	講義 DVD視聴 校内実習						
5									
6									
7	新生児の健康問題に対する看護	先天異常 新生児の呼吸障害 (新生児一過性多呼吸・呼吸窮迫症候群・胎便吸引症候群) 高ビリルビン血症・ビタミンK欠乏症 低出生体重児・新生児仮死 など	講義						
8	定期試験 (60分)								

授業科目	精神・神経系 疾病治療論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	15	開講	前期
科目目標	精神疾患の病態・治療・検査を学ぶ。								
回	主題	授業内容			授業方法		担当教員（講師）		
1	精神科で出会う人々	日本の精神医療の現状 精神障害の診断と分類			講義		非常勤講師		
2	主な精神疾患と障害 の特徴	統合失調症			講義				
3		気分（感情）障害 うつの3大症状と診断基準 躁状態の諸症状			講義				
4		神経症性障害、ストレス関連障害、 身体表現性障害			講義				
5		生理的障害および身体的要因に関連した 行動症候群 摂食障害			講義				
6		器質性精神障害 認知症・症状精神病			講義				
7		精神作用物質使用による精神・行動の障害 アルコール症			講義				
8		定期試験(60分)							

授業科目	こころの看護 方法論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	こころの健康問題・心理社会的反応に対する対応方法を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	関係の中の人間	全体としての家族			講義	非常勤講師			
2	関係の中の人間	クライアントとしての家族			講義				
3	関係の中の人間	人間と集団 グループのダイナミクス			講義				
4	関係の中の人間	人間と集団 グループのダイナミクス			講義、DVD				
5	ケアの人間関係	ケアの前提 ケアの原則			講義				
6	ケアの人間関係	ケアの原則 ケアの方法 コミュニケーション技術			講義、演習				
7	ケアの人間関係	プロセスレコードとは			講義、演習				
8	ケアの人間関係	プロセスレコードとは			講義				
9	ケアの人間関係	患者－看護師関係 信頼関係の大切さ 患者－看護師関係成立のための援助技術			講義				
10	ケアの人間関係	患者－看護師関係 看護理論			講義				
11	リエゾン精神看護	身体疾患をもつ患者の精神保健			講義				
12	看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス	看護という職業			講義				
13	看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス	看護師の不安と防衛 感情労働としての看護			講義				
14	看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス	看護師の感情ワーク 感情労働の代償と社会 レジリエンスを高める			講義				
15	定期試験(90分)								

授業科目	こころの看護 論演習	分野	専門分野	単位数	1単位	時間数	30時間	開講		後期	
科目目標	こころの健康障害をもつ人の看護の方法を学ぶ。										
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）					
1	入院治療と看護の 展開	1) 治療的環境をつくる 2) 安全を守る			講義	非常勤講師					
2		3) リスクマネジメント			講義						
3		4) 回復を助ける 精神科におけるリハビリテーション 社会生活技能訓練（SST）			講義						
4	精神科看護における 身体ケアの方法	1) 服薬治療に関わる看護 2) 電気けいれん療法の看護			講義						
5		3) 身体合併症に関する援助 4) 患者の回復段階ごとの身体的援助			講義						
6		5) 睡眠の援助 6) 自傷行為や身体症状を訴える患者の援助			講義						
7	精神障害をもつ人の 看護の実際	1) 入院治療の意味を理解する 2) 患者のアセスメント			講義	非常勤講師					
8		3) 精神症状と看護 ・思考・感情・意欲・知覚の障害 ・意識・記憶とその障害			講義						
9	入院治療と看護の 展開	4) 緊急事態に対処する 自殺・暴力・無断離院			講義						
10	精神障害をもつ人の 看護の実際	5) 疾患と看護 ①統合失調症（急性期）（慢性期） ②気分障害（うつ）、気分障害（そう） ③不安障害・適応障害・摂食障害 ④パーソナリティ障害・アルコール症 ⑤認知症			講義 演習						
11											
12											
13											
14	地域における精神看護	障害者の雇用の促進等に関する法律 就労支援事業について			講義	非常勤講師					
15	定期試験(90分)					非常勤講師					

授業科目	医療安全	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	後期
科目目標	医療システムの中の危険因子を知り、看護事故防止のための知識・技術を習得する。								
回	主題	授業内容	授業方法	担当教員（講師）					
1	医療安全を学ぶことの大切さ	人はなぜ間違いをおかすのか	講義	本校教員					
2		医療安全を学ぶことの意義 意識状態の変動 人間の3つの行動モデル	講義						
3	事故防止の考え方を学ぶ	医療事故と看護業務 看護事故の構造	講義						
4		看護事故防止の考え方	講義						
5	看護・医療事故を予防するための方法 看護・医療事故発生時の対処及び分析方法	医療事故と看護業務 看護事故の構造 看護事故防止の考え方	グループワーク						
6		注射業務と事故防止 注射業務に用いる機器での事故防止 輸血業務と事故防止 内服与薬業務と事故防止 経管栄養業務と事故防止 チューブ管理と事故防止 転倒・転落事故防止 誤嚥事故防止							
7									
8									
9									
10									
11									
12	院内での医療安全対策の実際	看護・医療事故への対処及び分析方法リスク分析の意義と手技	グループワーク 発表	非常勤講師					
13		RCA（根本原因分析）	グループワーク 発表						
14	まとめ	講義全体のまとめ	講義	本校教員					
15	定期試験（90分）			本校教員 非常勤講師					